

「この映画の宣伝打ち合わせを先日やった。

担当者の質問は、ずばり、若い人たちに見せたいですかというものだった。

私の映画は、若い人たちが好んで見る流行の映画とは質が違うだろうから、こうした言い方はよくないけれど、

- (略) - 包装紙をすっかりべつなものに変えるわけにはいかないけれど。

わかってもわからなくても若い人たちにぜひ見てもらいたいのだ、と。

映画に少しでも抽象性が入ってきたりすると極端に嫌われるのはわかっている。

でもそのことを承知したうえで、なおかつ確信的にこうしたものに触れてほしい、そう思っている。」

--- 小栗康平著「時間をほどこ」 60歳の新作映画 から抜粋



10月開催決定!



慶應義塾大学 日吉キャンパス新入生歓迎企画

小栗康平監督 最新作の上映と対談

映画と時代を見つめ続ける、日本を代表する映画監督が、若い世代へ映画と今を語る。

「埋もれ木」とは、
古代の森が火山噴火によって
立ち木のまま埋もれたものです。
この地の下にもう一つ、森がある
そう考えるだけでも浮き浮きしてきませんか。
私たちはもっと自由で
もっとこころ豊かであっていい、と
主人公の女子高生たちは、
そう思ったに違いありません。

小栗康平



2007年 10月12日 (金) 17時15分

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎シンポジウムスペース

<http://www.keio.ac.jp/access/hiyoshi.html>

第一部 小栗康平監督最新作「埋もれ木」上映会 17:15-19:00

第二部：対談：「映画を見る眼と今を見る眼」 19:00-20:00

小栗康平監督 / 慶應義塾大学 橋本順一教授

司会 慶應義塾大学 小菅隼人教授

主催：慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会 (HAPP)

<http://www.hc.keio.ac.jp/happ/>

入場無料、どなたでも参加できます。



お問い合わせ：慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会 (HAPP) hy-happ@adst.keio.ac.jp

参加申し込みアドレス：oguri_keio_20071012@hotmail.co.jp

写真提供 小栗康平事務所